





インドの全国予防接種日に集まったロータリアンとボランティアの人々。子供たちへのポリオ予防接種に加え、無料の保健キャンペーンやポリオ認識向上のための集会も開かれました。配られた帽子やバナーは認識向上の試みの一つ。2011年6月末までにインドで報告されたポリオ感染例はわずか1件です。

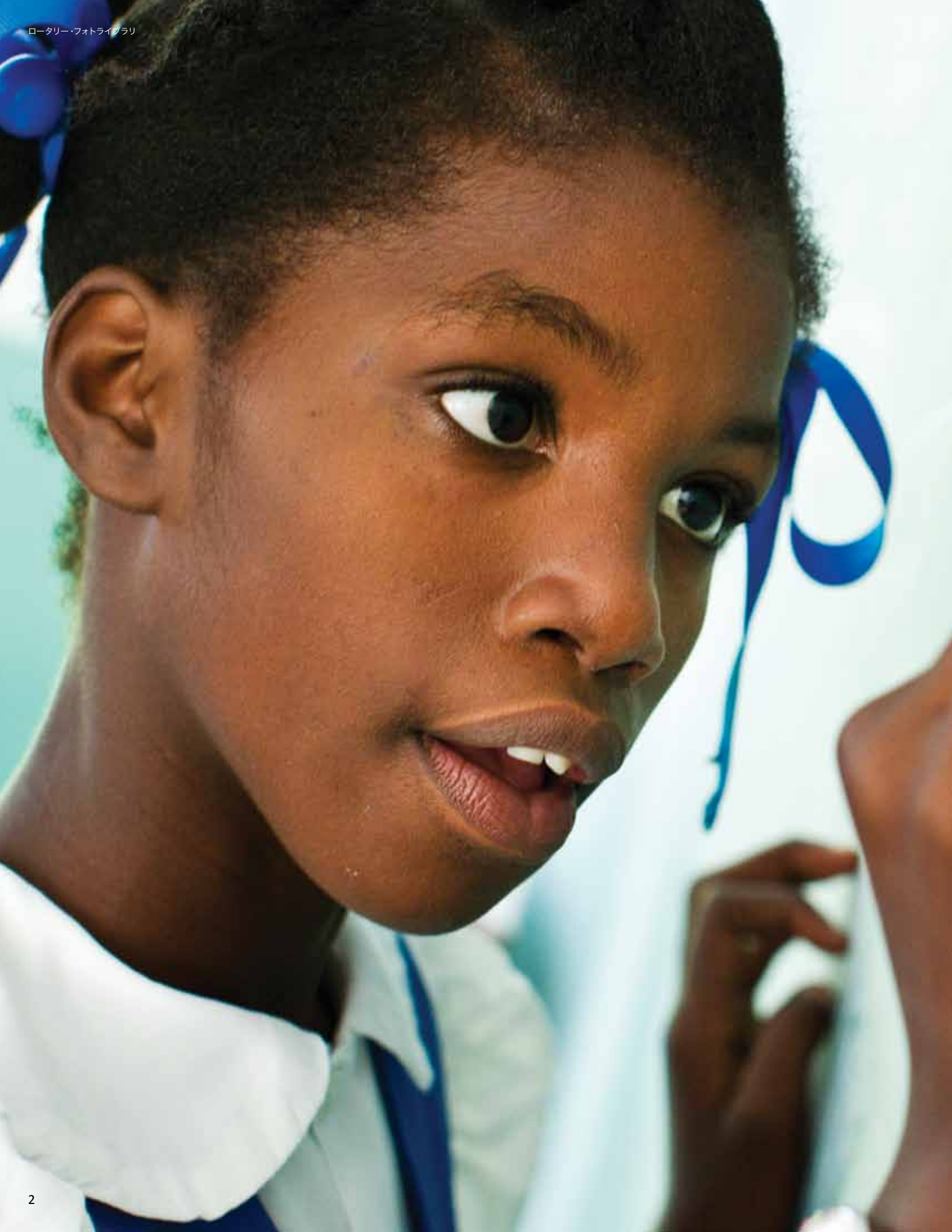



ROTARY'S
DEDICATION
POLIO'S
ERADICATION

शैक्षिक आधार निर्माण, रण लाना है
स्वच्छ हवा यों को जाना है
हर बच्चे को दो
पोलियो की दवा



ポリオのない世界を実現する





より良い未来を築くために

2010年の大地震で全壊したハイチの学校「École Ste.-Famille」は、ハイチと米国のロータリー・クラブの支援により建て直され、新しい教材を使って授業を再開しました。被災地では長期的な復興を目指す数多くの活動がロータリアンにより実施されています。ハイチ大地震災害救援基金から、国内の基幹設備の再建のために200万ドル以上が活用されました。



恵まれない人々に希望をもたらす

紛争や病気が絶え間なく続き、経済的にも貧しいウガンダ。この農村地域に希望をもたらしたのは、ウガンダと米国のロータリー・クラブが設置したビトーネ・センターでした。このセンターは、子供たちに栄養食、シェルター、基本的教育を提供し、また伝統舞踊や音楽、演劇のクラスも実施しています。




地域社会のために活動する





スライデル・ノースショア・ロータリー・クラブ (米国ルイジアナ州) は、ハリケーン「カトリーナ」により壊滅状態にあった地元の社会福祉施設を修築しました。ロータリアンのケンドラ・マネスさんとスティーブン・カーナハンさんは、ボランティアとして仮設住宅の建設作業に加わりました。



新たな始まりの年

2005年のハリケーン「カトリーナ」で被災したニューオーリンズの復興を助けるため、現地で支援活動に励むロータリーアクター、ロータリアン、ロータリー財団学友たち。2010-11年度には、新世代奉仕がロータリーの5つ目の奉仕部門となったほか、ロータリーEクラブが正式に承認されました。

会長からのメッセージ

2010-11ロータリー年度は、さまざまな意味で素晴らしい一年でした。本報告ではその一部をご紹介します。中でも目を引くのが、極めて良好な財務状況です。大幅な経費節約と好調な投資収益により、こうした改善が実現しました。

RI理事会は、新しいRI戦略計画導入のため、精力的に活動を進めてまいりました。特に、3つの優先項目を実行するため、将来を見据えた目標設定を行い、計画をさらに練り上げました。RI組織規定の変更については、いくつか主な提案が2013年規定審議会に提出される予定です。

「より大きく、豊かで、大胆な」クラブづくりを目指し、新しく任命されたロータリー・コーディネーターは、地区ガバナーとの協力を開始しました。さらに、ロータリー・コーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターとともに活動を行う、ロータリー公共イメージ・コーディネーターも新設されました。ニューオーリンズで開催された2011年国際大会は、出席者数、参加者の意欲、財務といった点からも大きな成功を収めました。6月30日に引退したエド・フタ事務総長に代わる後任者探しでは、国際ビジネスの経験が豊富で優秀なジョン・ヒューコ氏を採用することができました。

この一年は概して、ロータリーにおける革新の文化を築いた年であったと思います。この革新の文化の下、世界中の誰よりもロータリアンが得意とするところ、「地域を育み、大陸をつなぐ」ための活動を継続し、よりよいロータリーをつくっていくことができるでしょう。

Ray Klingenstein

2010-11年度

国際ロータリー会長

レイ・クリンギンズミス

(左上) ニューオーリンズ(米国ルイジアナ州)で開催された2011年RI国際大会には、151の国や地域から、18,500人以上が参加しました。(右上) ロータリーの創立記念日である2月23日、全世界20カ所以上の有名建築物に「End Polio Now」のメッセージがライトアップされました。



管理委員長からのメッセージ

2010-11年度は、財団にとって良い一年であったことをご報告でき、誠に嬉しく思います。特に、年次プログラム基金への寄付が再び1億米ドルを超えたことは、とても喜ばしいことです。世界的な経済不況にあっても、ロータリアンは財団のために惜しみない支援を続けてくださいました。

さらに、2010-11年度はアーチ C. クランフ・ソサエティに44名の新しいメンバーを迎えることができ、感謝の念に尽きません。入会式はこれまで世界本部の17階で行われていましたが、新たに講堂を使って式を催すこととなりました。内容もやや趣向を変え、大切な寄付者をお迎えるためにより華やいだプログラムを実施することができました。

ニューオーリンズ国際大会では、マルディグラ・ワールドというユニークな会場にて、遺贈友の会レセプション、アーチ C. クランフ・ソサエティ晩餐会、大口寄付者晩餐会を統合したイベントが行われ、参加者には大変好評でした。

財団管理委員会は、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターについて、スウェーデンのウプサラ大学を新しい提携大学として承認しました。これは、キャロライン・ジョーンズ元管理委員の率いるロータリー平和センター委員会小委員会が5つの大学を視察し、全会一致で推薦された結果によるものです。

未来の夢計画試験段階の1年目が始まり、参加する100地区からは貴重なフィードバックが寄せられています。試験地区の経験から学び、2013年から全面实施される未来の夢計画を成功させるための変更がこれから加えられることになるでしょう。

Carl L. Stenhammer

2010-11年度ロータリー財団管理委員長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

ポリオを撲滅する

世界中のロータリアンが一丸となり、子供たちへの予防接種、募金活動、ポリオの認識向上に努めています。1988年に世界ポリオ撲滅計画が始まって以来、世界のポリオ発症件数は99パーセントも減少しました。現在、ポリオ常在国は、アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンの4カ国を残すのみです。

新たに独立した南スーダンでは、国際ロータリーが主導パートナーとなっている世界ポリオ撲滅計画の支援の下、ポリオの一斉予防接種キャンペーンが実施されました。

目標達成まであとわずか

世界ポリオ撲滅計画 (GPEI) は、新たな戦略計画の導入と、効力の高い二価経口ポリオワクチンの開発により、ポリオ撲滅に向けて大きな進展を遂げました。この撲滅計画では、世界保健機関、ユニセフ、米国疾病対策センターとともに、ロータリーが主導パートナーとなっています。

近年までインドとナイジェリアから、ポリオのない国へ野生型ウイルスが流出していました。しかし、2009年から2010年までに両国で報告されたポリオ感染数は、95パーセント減少しています。またGPEIの独立監視委員会によると、2009年以降、アフリカの15カ国においてポリオの感染が報告されていません。

こうした進展は実に素晴らしい成果であるものの、「仕事はまだ終わっていない」と話すのは、世界保健機関のマーガレット・チャン事務局長です。5月に開かれた世界保健総会にて「終わりを見届けなければならない」と活動継続の重要性を強調しました。ポリオ撲滅活動では資金不足が深刻な課題とされる中、ロータリーはこれまでに多額の資金を援助してきました。ビル・アンド・メリнда・ゲイツ財団もロータリーのポリオ撲滅活動を高く評価し、ロータリーへのチャレンジ補助金として3億5,500万ドルを授与しました。「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」では、2012年6月30日までにゲイツ財団の補助金に上乘せする2億ドルを集めることを目標としており、2011年6月30日時点で1億8,400万ドルが寄せられています。

ロータリーによるリーダーシップが活動の重要な鍵を握ります。「全世界のドナー国政府には、ゲイツ財団のように、ロータリーの120万人の会員が世界各地で続けるポリオ撲滅活動を、全面的にご支援いただきたい。そしてGPEIの戦略計画に必要な不可欠な資金を確保するため、今すぐご協力を願いたい」とロータリー財団のカール・ヴィルヘルム・ステンハマー管理委員長は話しています。



2011年6月30日現在、
ロータリーの2億ドルのチャレンジには、
1億8,400万ドルが寄せられています。

アフガニスタン

パキスタン

インド

ナイジェリア


コリーン・ボナドンナ



(写真上) 2011年RI国際大会にて、ポリオ撲滅をゲイツ財団の最優先事項にすると発表したビル・ゲイツ氏。(写真下) インドの全国予防接種にボランティアとして参加し、その体験に心を動かされたコリーン・ボナドンナさん(ウエスト・ポイント・ロータリー・クラブ、米国バージニア州)は、200日間かけて200のロータリー・クラブを回り、ロータリーの2億ドルのチャレンジのために8,000ドルを集めました。(写真左) スイスとリヒテンシュタインのロータリアン、ローターアクター、RI職員が「End Polio Now」のキーホルダーを販売し、ロータリーのチャレンジのために893,000ドル以上を集めました。

人間の基本的な ニーズに応える

ハイチのナンセマで、シャロンダちゃん（10歳）と一緒に休憩するグリーンポート・ロータリー・クラブ（米国ニューヨーク州）のジョージ・ソロモンさん。同クラブが2006年にこの地に井戸を掘って以来、ソロモンさんは何度か現地を訪れ、クラブの医療活動、補助金活動を支援するだけでなく、医療設備を管理するための研修を地元の人々に提供しています。

A man with a grey beard and mustache is sitting on a wooden ledge. He is wearing a light green short-sleeved button-down shirt, khaki shorts, white socks, and grey and orange sneakers. He is also wearing a wide-brimmed straw hat with a white band and a small logo. He is holding a clear plastic water bottle in his left hand. The background is a reddish-brown wall with decorative metal elements.

ロータリーの**6つの重点分野**（平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）は、世界の34,000のクラブで活動する120万人のロータリアンが、地元や海外の地域における多種多様なニーズに応えるための方向性を指し示すものです。

平和と紛争予防／紛争解決



疾病予防と治療

水と衛生設備

母子の健康

基本的教育と識字率向上

経済と地域社会の発展

世界中で何百万人という人々が、武装紛争や迫害から住む場所を奪われ、また、無法国家や自然災害に見舞われた地域で厳しい生活を迫られています。ロータリー平和センターは、これらの**紛争地域や紛争後の安定回復**に貢献できる人材を生み出しています。

大震災後のハイチの首都ポルトープランスの犯罪多発地域で、ハビタット・フォー・ヒューマニティの仲間たちと住居のニーズについて話し合う元ロータリー平和フェロー、ルイサ・ダウさん。

復興後のハイチの基礎を作るために

ルイサ・ダウさん（写真左）は、2010年に甚大な被害をもたらした大地震からのハイチの再建と復興を支援するため、ロータリー平和フェローとして学んだ専門知識を生かしています。「ハイチで、住宅の支援を提供し、多くの家族の生活を再建できる機会を与えられたことをとても光栄に思っています。住む場所、教育、医療を提供することは、困難な状況にある人々に直接影響を与えます」とダウさんは話します。

ダウさんは、ハビタット・フォー・ヒューマニティが実施するハイチ災害救援のパートナーシップ・コーディネーターで、米国国際開発庁（USAID）緊急地域支援計画プログラム（ECAP）を担当しています。ハビタット・フォー・ヒューマニティによって立ち上げられたこのECAPは、ハイチにおける地震後のシェルター提供や定住推進計画を担当する政府

機関に対し、地域に根ざした、実践的な技術支援を提供しています。

オーストラリア出身のダウさんは、2008-10年度にデューク大学およびノースカロライナ大学チャペル校（米国）で学んだことが、現在の仕事に就く準備となったと言います。在学中に中南米やカリブ海諸国で行った実地調査で、平和で公正な社会の実現には、住居の開発が重要であるということに気がつきました。

開発と平和の分野での教育で、ロータリー平和フェローシップ以上に素晴らしいプログラムはないと語るダウさん。「新しく革新的な研究分野が見つけれられる環境に身を置けたことは、何にも代えがたい体験でした」



（左）2011年RI国際大会でパフォーマンスを披露するロータリー青少年交換学生たち。ロータリーは、異文化間交流や活動を奨励し、国際理解と平和を推進しています。（下）独自の平和研究プログラムを設立した元ロータリー平和フェロー、キャメロン・チザムさん（左から3人目）。チザムさんは、平和と安全保障問題への認識向上を目指し、ワシントンD.C.に本拠を置く国際平和・安全保障研究所（International Peace and Security Institute）を設立しました。マリア・セイフディン・エフェンディさん（左から2人目）は、パキスタン、イスラマバードにある国立防衛大学で、平和研究・紛争研究学部（パキスタンでは同分野初の学部）を設立しました。

元ロータリー平和フェローの約 **62%** が、政府機関、非政府組織（NGO）、または国連や世界銀行などの多国籍機関に勤務しています。*

*2011年6月30日現在

米国

ハイチ



CAMERON CHISHOLM

パキスタン



平和と紛争予防／紛争解決

疾病予防と治療



水と衛生設備

母子の健康

基本的教育と識字率向上

経済と地域社会の発展

WHO（世界保健機関）は、熱帯病の治療が放置されているために、10億人の人々が苦しんでおり、また、6人に1人が、医療費を支払うことができないと推定しています。ロータリーの**疾病予防と治療**における活動では、予防接種や患者への医療支援だけでなく、保健従事者への研修も提供しています。

ハイチ、ナンセマの診療所で、看護師としてボランティア活動するフリーポート・メリック・ロータリー・クラブ（米国ニューヨーク州）のフローレンス・マーク・チャールズさん。「自分が生まれた国の人々を助けることは、私にとってとても光栄なことです」

サハラ以南のアフリカでマラリアと闘う

昨年、サハラ以南のアフリカでは、マラリアによって75万人（そのうち85%が子ども）が命を落としました。しかし、ロータリー財団のグローバル補助金プロジェクトの

下、4カ国のロータリアンが協力し、マリ共和国の最も貧しい地域であるイリマージョに住む人々に、マラリア予防の支援が提供されています。

マリ共和国のバマコ・アミティ・ロータリー・クラブは、防虫加工の蚊帳とマラリア予防・治療のための医療品や内科治療を提供する「Bite Malaria Back」プロジェクトを実施しています。キャピトル・ヒル・ロータリー・クラブ（米国ワシントンD.C.）と同地域の5つのクラブ、また、インドと香港のクラブがこのプロジェクトを支援しています。また、ロータリアンは、イリマージョにおける貧困と疾病問題に取り組む非政府組織、「プロジェクト・ムソ・ラダミュネン（Project Muso Ladamunen）」とも協力しています。

プロジェクト・ムソ・ラダミュネン



グローバル補助金によるこのプロジェクトは、マリ共和国イリマージョの子どもたちに、マラリアのない未来という希望を与えています。

このプロジェクト開始後の3カ月間で、3,000人以上の患者がマラリアの治療を受けただけでなく、保健従事者が12,700戸を訪問し、900人の子どもたちを治療しました。そのうち8割は、医療介入が最も緊要とされる発症後48時間以内に治療を受けることができました。

「わずか数ドルの効果的な薬で治療できるマラリアのような疾病によって、毎年100万人近い子どもたちが命を落とすなど、あつてはならないことです。治療を必要としている何千人もの子どもたちに、効率良く治療を行うことが重要です」と語るのは、キャピトル・ヒル・ロータリー・クラブのマリア・ネリ・パビシクさんです。

エルサルバドル
ハイチ

マリ

中国

ロータリー財団のマッチング・グラントによる公共保健プログラムの恩恵を受ける、中国・雲南省の人々。このプログラムでは、教育、医療検診、保健従事者への研修が提供されました（右）。エルサルバドルの子どもたちが生きるために必要な手術を受けられるよう、42,000ドルを集めたショセツト高校インターアクト・クラブ（米国ニューヨーク州）の会員（右）。

イー・リン・チャン



ショセツト高校インターアクト・クラブ

平和と紛争予防／紛争解決

疾病予防と治療

水と衛生設備



母子の健康

基本的教育と識字率向上

経済と地域社会の発展

多くの発展途上国で、生命に欠かせない水が、命を奪い、疾病をもたらす原因となっています。また世界には、6人に一人の割合で、安全な飲み水が得られない人々があります。ロータリアンは、**水と衛生設備**のプロジェクトを通じて、さまざまな地域で支援活動を行っています。

ロータリー財団未来の夢試験段階の下、大規模なグローバル補助金プロジェクト第1号がシエラレオネで実施され、多くの人々がきれいな水を利用できるようになりました。

ハイチ

シエラレオネ

フィリピン

人々に安全な水を

シエラレオネでは、水を原因としたコレラ、下痢、A型肝炎、腸チフスなどの症状が起り、5人に一人の子どもが5歳の誕生日を迎えることなく命を落としています（ユニセフ調査による）。

そこで何をすべきか、答えを知っていたフィッシャーズ・ロータリー・クラブ（米国インディアナ州）は、2009年、フリータウン・ロータリー・クラブ（シエラレオネ）と協力し、1万人が利用できる14基の井戸を設置するグローバル補助金プロジェクトを開始しました。その後、未来の夢試験地区である第6560地区（米国インディアナ州）のほか、米国とシエラレオネからそれぞれ11と1つのクラブが支援に加わり、総額30万ドルのプロジェクトに発展しました。このプロジェクトを通じて、71基の井戸を設置し、農村に暮らす約71,000人の生活が改善されました。

蛇口から安全な水を飲むハイチの子ども（右）。ハイチ大地震災害救援復興基金に世界中から寄せられたロータリアンの支援を受け、マイヤーバレス・ロータリー・クラブは、約9,500リットルの雨水を蓄えられるタンク80基を設置しました。また、オーストラリアとフィリピンのロータリアンは、国際ロータリーと米国国際開発庁（USAID）による国際H₂O協力のプロジェクトを通じて、フィリピンの貧困地域の家庭や学校で安全な水が得られるよう水道管を設置しました（下）。

さらに、シエラレオネの3クラブと非政府組織「World Hope International」が、プロジェクト後も井戸の持続的な使用を見守る一方で、設置場所の選定やプロジェクトの効果を調べた地元のロータリアンが、委員会を立ち上げて井戸を管理しています。

「これらの井戸には蓋が付いているので汚染される心配がない」と、フリータウン・ロータリー・クラブのクリストファー・フォスターさん。「シエラレオネでは外来患者の4割が水を原因とする症状で不調を訴えています。このプロジェクトは、人々の生活を大きく改善しました」



シネシュル・フィルム



international h₂o collaboration

平和と紛争予防／紛争解決

疾病予防と治療

水と衛生設備

母子の健康



基本的教育と識字率向上

経済と地域社会の発展

5歳未満の子ども900万人が、栄養失調、不十分な医療、劣悪な衛生環境が原因となって命を落としています。適切な医療と訓練を受けた助産師がいれば、出産時における母親の死亡率を80%下げることができます。**母子の健康**に重点を置いたロータリーのプロジェクトでは、教育や予防接種などのケアを母親に提供し、出産のための安全な環境づくりが行われています。

口唇裂の手術後に子どもを診察する、非営利組織「Alliance for Smiles」の医療スタッフ（中国、温州）。ロータリアンが設立したこの組織は、これまでに3千人以上の子どもを治療してきました。

持続可能な医療を

子どもたちに生きるチャンスを与え、医療従事者のスキルを向上させるため、12名の医療専門家チームが、米国と東アフリカのロータリー・クラブの支援を受けてウガンダを訪問しました。ロータリー財団のグローバル補助金を活用したこのプロジェクトでは、ライリー小児科病院（米国インディアナ州）の医療チームが、カンパラ（ウガンダ）にある心臓医療センターを訪れ、救命手術法や技術的なノウハウを指導しました。

「私たちは、内科医、看護師、手術室担当スタッフに対し、手術や手術室管理に関するノウハウだけでなく、先天性心臓疾患の小児手術後における医療についても指導しました」と、チームリーダーとして参加したグリーンフィールド・ロータリー・クラブ会員、ステファニー・キンナマンさんは話します。

一方、ウガンダのマキンダイ・ロータリー・クラブは、病院への交通手段や食事のほか、身の回りの世話を提供するなどしてプロジェクトに貢献しました。



SALIM NAJJAR

ロータリアンが派遣した医療ボランティアチームによって心臓救命手術を受けた、ウガンダの少女。

この活動は、「Gift of Life Foundation (命の贈り物基金)」と国際ロータリーによって2008年に開始された長期的支援活動の一環として行われ、心臓医療センターでの職業支援が完了する2014年まで継続される予定です。

「子どもの命を救うというロータリーの貢献をこの目で見る事ができた」と、チームに同行したロータリアン、サリム・ナジャさんは話します。

© アガ・カーン大学



ロータリアンは、非営利組織「Midwives for Haiti (ハイチのための助産師)」と協力し、妊婦のいる家に助産師を派遣するためのジープを購入しました(上)。ロータリー財団とアガ・カーン大学の新たな協力関係を通じて、クラブは、奨学金を受ける看護学生を選出、指導し、東アフリカの保健教育者に研修を提供するために専門家チームを派遣します(右)。



平和と紛争予防／紛争解決

疾病予防と治療

水と衛生設備

母子の健康

基本的教育と識字率向上



経済と地域社会の発展

明るい未来を築くには、**基本的教育と識字能力**が欠かせません。しかし世界には、基本的教育を受けられない子どもが7,500万人（うち4,100万人が女兒）と、読み書きができない15歳以上の人が6億7,700万人います。世界各地のロータリー・ボランティアは、低コストの識字プログラムを通じて教師の研修や生徒指導を行っているほか、学校や図書室の設立支援を行っています。

レカイ・ロータリー・クラブから寄贈された本で勉強に励む生徒（ハイチ、レカイ）。

識字率向上をめざして

カナダと米国のロータリー・クラブは、グローバルな視点で奉仕を実践しようと、10カ国の地域社会で、教育と識字のニーズに応える包括的な計画に乗り出しました。第5020地区（カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州および米国ワシントン州の一部）は、ホンジュラスとフィリピンにおける教育・識字プロジェクトのためのグローバル補助金2件、また8カ国で教育支援を行うための新地区補助金1件、合計23万ドルの支援プロジェクトを実施しました。

ロータリアンはまず、地域のニーズ調査を行いました。クラブは小規模のプロジェクトから始めて経験を重ねること

で、実施国側の提唱者からの信頼を得ることができると、地区ロータリー財団委員長のブライアン・ビーグルさんは説明します。

ケニアでは、ロータリアンが10の学校で学ぶ500人の生徒の識字能力を向上するために、図書や教材に加え、教師対象の研修を提供しました。またペルーでは、地元とカナダのロータリー・クラブによって3つの校舎に太陽光発電システムが設置され、カナダでは、図書館の読書プログラムを支える図書が寄贈されました。

カナダ

ハイチ
ホンジュラス

ペルー

ケニア

南アフリカ

パキスタン

パット・ティーン

**「貧しく、恵まれない家庭の少女たちに
教育を提供するには、
資金確保が非常に重要となります」**

アルマス・ジョビンダー、ラホール・モーザン・ロータリー・クラブ（パキスタン）

ルプナ・ジャハド



パキスタンのパンジャブでは、パキスタンと米国デラウェア州のロータリアンが協力し、貧しい村落に暮らす少女に教育支援を提供しています（左）。南アフリカのクワズール・ナタール州では、南アフリカと米国のロータリー・クラブのほか、非政府組織「Operation Upgrade」や国際読書協会が協力し、600名の成人識字教育者を対象に、栄養と保健に関する研修を実施しています（上）。

平和と紛争予防／紛争解決

疾病予防と治療

水と衛生設備

母子の健康

基本的教育と識字率向上

経済と地域社会の発展



推定8億7,800万人（そのうち半数は仕事を持っている）が、1日1ドル25セント以下での生活を余儀なくされています。ロータリアンは、職業訓練、起業家や地域指導者への支援、被災地での長期復興支援プロジェクトを通じて、貧困地域での**経済・地域社会の発展**に取り組んでいます。

マヤ・バルマさんは、支援団体「ジユレー」で手織物を作る女性たちの一人です（インド、マハシュワール）。

米国

オランダ

インド

ケニア

オイコクレジット

親善と自立支援への投資

ロータリーでの経験が、社会起業家になるための私の熱意を育んだと、支援団体「Jhoole」創設者で、ロータリーの元奨学生であるハンナ・ウォレンさんは話します。マハシユワール（インド）の貧しい女性たちに、研修や織物の原料のほか、作った手織物を国際市場で販売する機会を提供している同団体は、カーゴーン（インド）とラブズ・パーク（米国イリノイ州）のクラブからの支援やロータリー財団補助金を受けて、織機や生地のほか、機織りの研修資金を調達しています。

ウォレンさんは、シカゴに本拠を置くMata Tradersなどの配給元やデザイナーと協力し、女性たちが作るドレス、スカート、ハンドバックを販売するルートを確認しました。織物には、リサイクルの材料も使用され、例えばスカーフは、Pratibha Syntexから寄贈された生地の切れ端を使用しています。

高齢の女性や身体障害者の支援団体「Chetanya Sewa Sansthan」に、ジュレーは利益の20%を寄付しています。これによって、300人以上の女性が、両団体からの恩恵を受けることができます。

「国際親善奨学金がなかったら、私にこの仕事はできなかったでしょう」とウォレンさん。「ジュレーのプログラムと同様、ロータリーの奨学金は、親善を育てるための投資となります」



2010-11年度、ロータリー財団は、小口融資（マイクロクレジット）の分野で世界的に知られているオイコクレジットと協力関係を結びました。これによりロータリアンは、オイコクレジットのネットワークにある機関と協力し、人々の暮らしを豊かにするための研修を提供します。ケニアとオランダのロータリー・クラブ、および財団とオイコクレジットの支援の下、酪農組合の支援活動が行われています。



「ロータリーには大変お世話になっています。ロータリーのおかげで湾岸地域の復興のために1,900万ドルが集まり、カトリナ災害復興基金を通じて190万ドルを寄付していただきました。ニューオーリンズの人々はロータリアンの『超私の奉仕』をいつまでも忘れないでしょう」

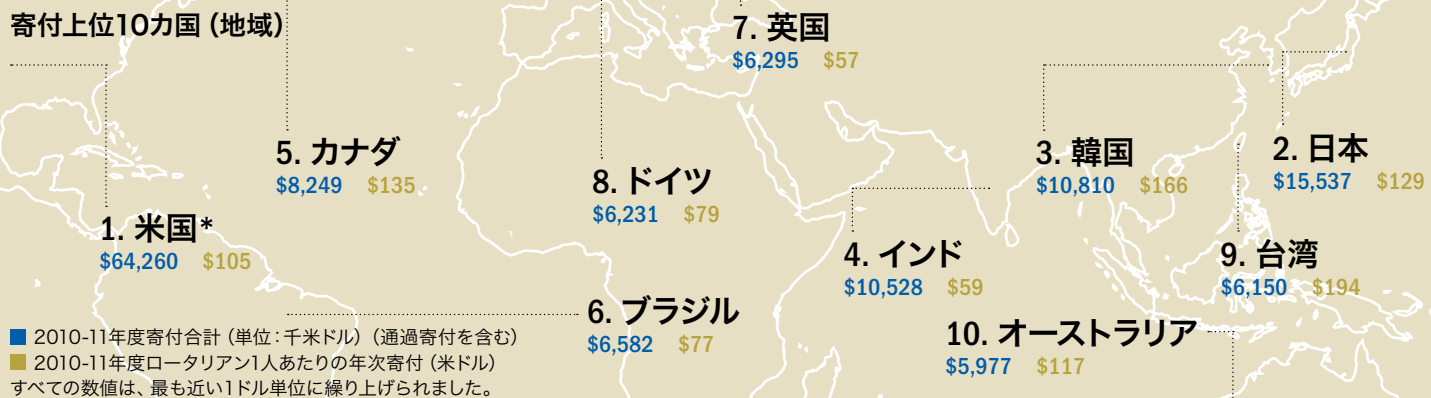
ミッチ・ランドリュウ、ニューオーリンズ市長
2011年RI国際大会にて

財団を支える人々

世界的な不況にもかかわらず、ロータリアンやそのほかの方々から、より良い世界の実現をめざすロータリー財団に、惜しみない寄付が寄せられています。前年度に比べ、ロータリー財団への寄付は6パーセント増加しました。*

2011-12年度、ロータリー財団のアーチC. クランフ・ソサエティは、台湾から新たなメンバーを迎えました。

寄付上位10カ国 (地域)



堅実な支援の継続

ロータリアンが財団に寄付するのは、人間の基本的ニーズのためにロータリーが残してきた実績があるからです。財団の2010-11年度年次プログラム基金への寄付総額は、1億770万ドルとなり、財団史上2番目に多い額を記録しました。

強い信念を持った支援者には、財団への25万ドル以上の寄付によって認証される、アーチ C. クランフ・ソサエティのメンバーが含まれます。2010-11年度、財団は新たに44名のソサエティ会員を迎えました。

特典付きのオンライン寄付キャンペーンが行われた2日間には、ロータリアンから410万ドルの寄付が寄せられました。また、2月23日には、ロータリー創設記念日を記念して、年次プログラム基金への100ドル以上のオンライン寄付に対して、ポール・ハリス・フェローの認証額が倍増となりました。

ロータリー平和センター大口寄付推進計画では、5,500万ドルという2011年6月30日までの目標額を上回り、5,800万ドルが集まりました。2005年に開始されたこの推進計画は、ロータリー平和センターへの安定した資金調達を目的とし、2015年までに9,500万ドルを集めることを最終目標としています。

世界各地のロータリアンから寄せられるご支援のおかげで、重要な人道的ニーズに応えることが可能になります。ムンバイ(インド)のロータリー名誉会員、ラジャシュレー・ビルラさんは、ロータリーの2億ドルのチャレンジを支援するために、112万ドルをロータリー財団に追加で寄付しました。これにより、ラジャシュレーさんは、ポリオ撲滅のために、420万ドル以上を財団に寄付したことになります。

「人のために行ったことは、自分が死んだ後も永久に残る」とラジャシュレーさんは信じていると、アショク M. マハジャン財団管理委員は説明します。「奉仕は地元から始め、世界に広げていくことが大切です」

2010-11年度の支援者

44名	アーチ C. クランフ・ソサエティ会員 (25万ドル以上の寄贈)
1,348名	大口寄付者 (1万ドル以上の寄贈)
609名	遺贈友の会会員 (1万ドル以上の遺贈)
2,978名	ベネファクター (1,000ドル以上の遺贈)
61,501名	ポール・ハリス・フェロー (1,000ドル以上の寄付)

統計はすべて、2011年6月30日現在のものです。

* 米国の組織であるビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からポリオ撲滅に授与された4,000万ドルの補助金は含まれていません。


アーチ C. クランフ・ソサエティの新会員

Henry A. and Patricia Alker Charles K. and Joy M. Campbell Ray Ching and Shu-Chen Chang Wendell L. and Helen Christoff Jamil E. and Suheila Hitti de Dunia Foster Stephen and Lynn Friess Charles H. and Frances Gabus+ Len+ and Arlyn E. Gundersen Rafael G. and Eumelia C. Hechanova Shue-Liang Hong and Shu-Yun Hong Wang Woo-Hong and Jeong Ja Kim Cheng-Shu Lai and Tsz-Jiou Lai Tseng Chih-Chiang Lin and Su-Huih Cheng Chi-Tien Liu and Hsiu-Jung Liu Ying Nam-Soo Park and Seong-Im Cho William F. and Nancy R. Pettus Barry and Diana Phillips Gerrit A. and Carolee Terpstra I-Tson Soo and Addie Yuh-Rong Tsao Kei-Chou Wu and Chun-Yu Chang Chi-Jea and Jade Yao

上記は、2010年7月1日～2011年6月30日にアーチ C. クランフ・ソサエティに入会した方のリストです。入会の資格に達した方でも、この期間中に正式に入会していない場合は、名前が記載されていません。

+ 故人

財務状況



ロータリーが人々のニーズに応えられるのは、
ロータリアンやその他の支援者からの寛大な
寄付を、活動資金として効果的に生かしてい
るからです。

インド・マハシュワールの支援団体「ジュレー」の織物

国際ロータリーの財務報告

国際ロータリーの財務報告

RIの本会計年度の収益合計は、会費、RI業務、投資収益を含め、1億590万ドルでした。投資収益の好転が主な原因となり、収入は予算を2,090万ドル上回るとともに、前年度を1,030万ドル上回りました。

差異に関する説明

人頭分担金からの収入は、予算を40万ドル上回りました。2,170万ドルの投資収益（主に本会計年度における一般資金の23%の投資収益によるもの）は、予算における4%の収益率を上回りました。業務提供とその他の活動の収入は予算を170万ドル上回りました。

収入は、投資収益が1,100万ドル増加したことが主な要因となり、前年度を上回りました。業務提供とその他の活動による収

入は、2010年4月に規定審議会があったため、前年度よりも200万ドル減少しました。人頭分担金は、会員一人当たり1ドルの値上げにより、前年度より130万ドル増加しました。

国際ロータリー支出の部

RIの支出総額は8,010万ドルで、予算を400万ドル下回り、前年度に比べて240万ドルの減少となりました。

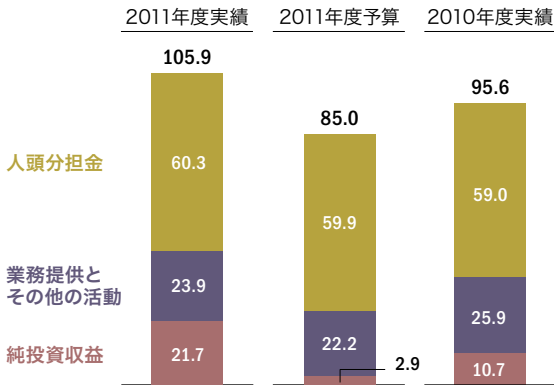
差異に関する説明

運営関連の経費は、経費削減策により予算を280万ドル下回りました。業務提供とその他の活動に関連した経費は、交渉により郵送費を削減したことにより、予算を120万ドル下回りました。

運営関連の経費は、昨年度より170万ドル増加しましたが、業務提供とその他の活動に関連した経費は、2010年度に規定審議会があったため、410万ドル減少しました。

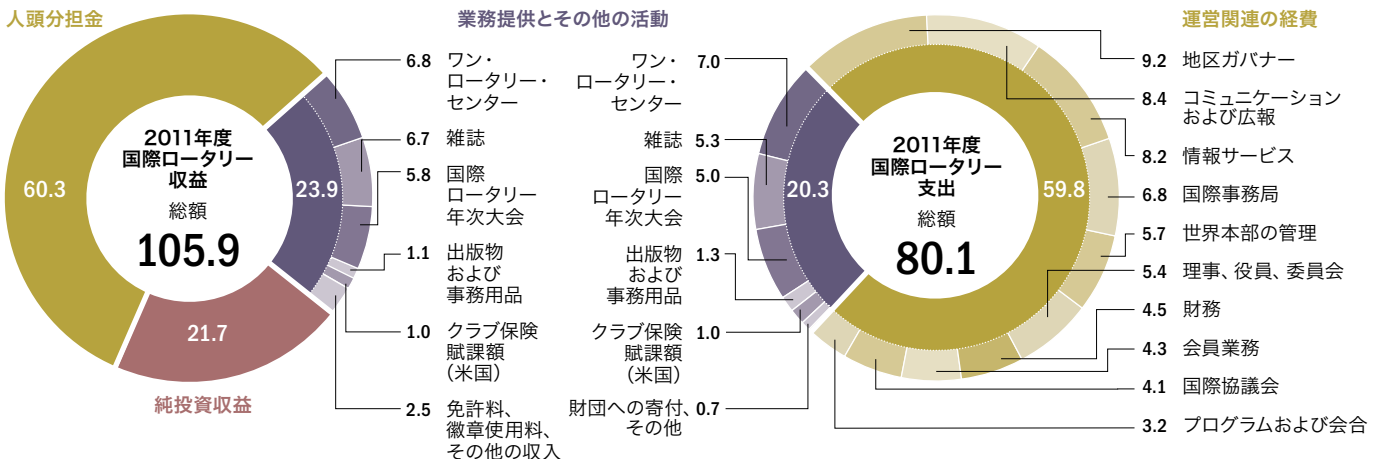
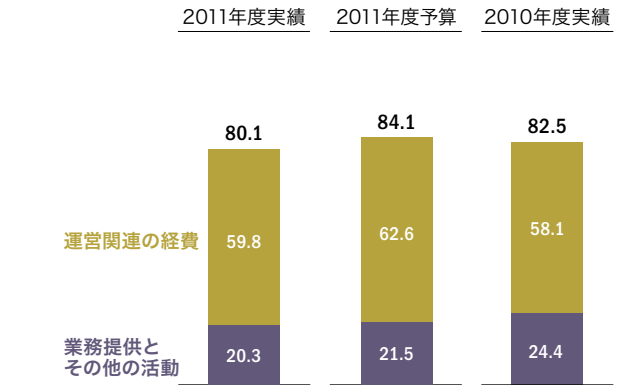
収入

米ドル (100万単位)



支出

米ドル (100万単位)



会長の経費、理事の経費、監査済み財務諸表を含む、RIの2010-11会計年度の財務情報の詳細は、www.rotary.org/financials (画面下の「日本語」をクリック) でご覧いただけます。

会長の経費

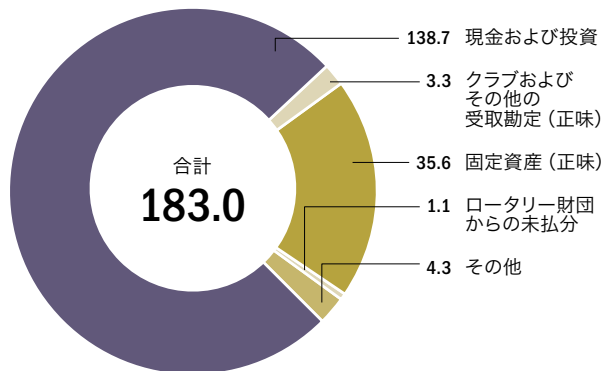
RIは、会長、会長エレクト、会長ノミニーに対して（または会長、会長エレクト、会長ノミニーに代わり）それぞれ581,000ドル、649,000ドル、104,000ドルを支払いました。これらの経費には旅費（航空運賃、ホテル、食事）、RIテーマ、広報、家賃、引越し費用が含まれています。RIは会長室の運営に549,000ドルを支払いました。

理事会の経費

RIは理事会に代わり、668,000ドルを支払いました。これらの経費には、理事会会合、RI国際大会、国際協議会、規定審議会への旅費、およびクラブ、会長主催の会合、ロータリー研究会への旅費が含まれています。

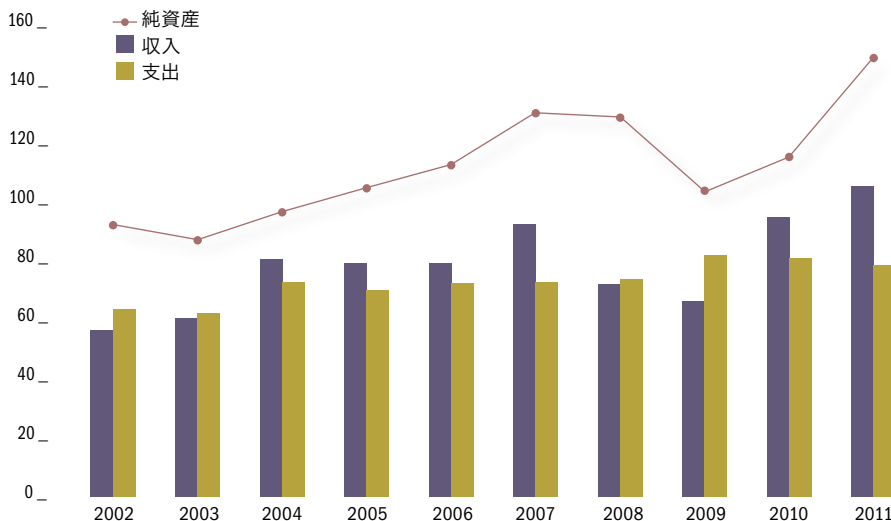
資産

米ドル（100万単位）



収入、支出、純資産の推移

米ドル（100万単位）



国際ロータリーの財務状況

RIの純資産は、収入が支出を2,580万ドル上回っただけでなく、RIの年金債務が520万ドル減少した結果、前年度と比べて3,100万ドル増加しました。

最近の傾向

2000-01から2002-03会計年度にかけては、不調な投資環境が主な原因となり、支出が収入を超えました。

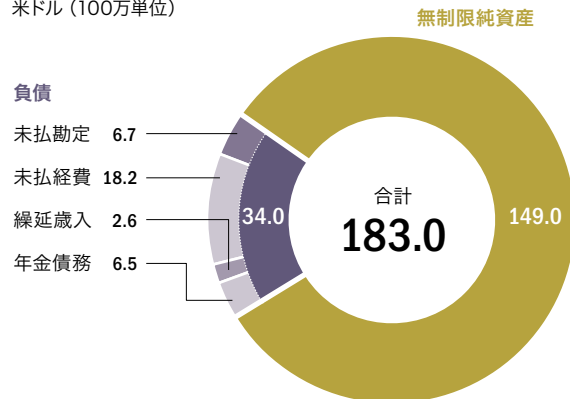
2003-04から2006-07会計年度にかけては、投資収益の黒字への回復、人頭分担金の値上げ、支出の削減により、収入が支出を上回り、純資産が増加しました。

2007-08および2008-09会計年度は、再び低迷し不安定な投資環境が主な原因となって、支出が収入を上回りました。

2009-10および2010-11会計年度は、投資収益の改善、安定した会員数と人頭分担金収入、およびさまざまな経費削減の努力により、収入が再び支出を上回りました。

負債および純資産

米ドル（100万単位）



投資

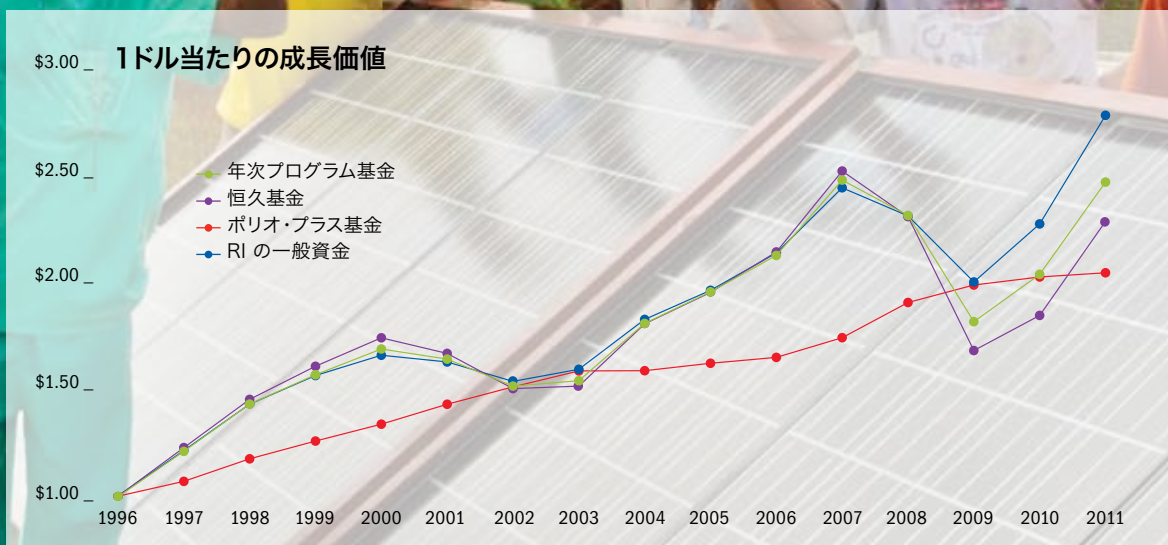
本会計年度は、世界の株式市場が約30パーセントの上昇を見せるなど、好収益を上げ、国際ロータリーとロータリー財団の収益も共に2桁の投資益を上げました。RIの投資益は2,170万ドルで、これは2008年度、2009年度の累積損失、1,690万ドルを取り戻して余りあるものです。一方、財団の投資収益は1億1,250万ドルと、前2年度に被った損失を取り戻す結果となっています。

以下のグラフは、1996年度におけるロータリーの各基金からの1ドルの投資が、2011年6月30日の時点でどれほどの現在価値を持っているかを表示したものであり、基金ごとの投資損失からの回復状況を示しています。この中で特に注目しているのは、年次プログラム基金が、2008年度と2009年度に被った全損失額のすべてを回復できたことと、株式市場への投資配分が最も高かった恒久基金は、両年度の損失分の90パーセントを取り戻すことができたということです。管理委員会は、さらに1年間投資収益が好調であったことに基づき、運営予備金への追加資金として、3,000万ドル相当の現金と債権を充てることを承認

し、この結果、運営予備金への投入資金は合計5,000万ドルとなり、これは運営予備金全体の75パーセントに当たります。

本会計年度中には、前年度に改正されたRIの一般資金、および財団の年次プログラム基金と恒久基金の投資方針が実施に移されました。新方針は、株式リスクを減らし、急激なインフレ、長期的なデフレ、信用危機、金や石油の急騰といった、過激な現象に備えることを意図するものです。ポリオ・プラス基金は、短期基金であることから、引き続き信用度の高い短期債権に投資されています。現在、市場金利が低迷しているため、ポリオ・プラス基金の収益率は1パーセント以下に留まりました。

慎重な投資管理の実践に従い、両組織は、米国および米国外株式、世界各国の債権、ヘッジファンドを含むさまざまなポートフォリオに分散投資しています。財団はまた、不動産、未公開株といった代替資産クラスにも投資を行っています。ロータリーの投資プログラムは、管理委員3名、投資を専門とするロータリアン6名、RI財務委員会から成る財団投資諮問委員会により監督されています。ロータリーはまた、投資問題について両組織に助言を提供し、その投資状況を見守る独立した投資顧問を起用しています。ロータリーの資金はすべて、経験豊かなプロの投資会社によって運用されています。



ニューヨーク（米国）とポルトーランス（ハイチ）の複数のロータリー・クラブが協力し、ラゴナーヴ島の人々に医療ケアを提供。さらに診療所や水ポンプに電力を供給する太陽光パネルを18台設置しました。

ロータリー財団の財務報告

財団収入の部

寄付

ロータリー財団には、ロータリアンから前年度を上回る、惜しみない寄付が引き続き寄せられました。

年次プログラム基金には、前年度に続き「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」への積極的な寄付に加え、1億770万ドルの寄付がありました。オーストラリア、カナダ、香港、日本、韓国、メキシコ、ナイジェリア、台湾、タイ、米国の10の国と地域が、一人当たりの寄付額100ドルという「毎年あなたも100ドルを」の世界的な目標を上回りました。恒久基金への寄付額は1,630万ドルで、2009-10年度の1,050万ドルより55パーセントの増加となりました。

ポリオ・プラス・プログラムでは、世界ポリオ撲滅推進計画の支援に7,890万ドルの寄付が寄せられ、これにはゲイツ財団からの4,000万ドルが含まれています。財団への寄付総額、2億850万ドルには、通貨寄付、1,330万ドルは含まれていません。

財団支出の部

プログラムの支出

プログラムの支出は、主にポリオ・プラス・プログラム補助金が4,250万ドル減少したことに伴い、昨年度より3,630万ドルの減少となりました。未来の夢試験段階の1年目におけるグローバル補助金と新地区補助金の支出総額は、1,910万ドルでした。2010-11会計年度のプログラム支出総額は、ポリオ・プラス・

プログラムおよび運営経費7,790万ドルを含む、1億6,860万ドルでした。総額1億5,020万ドルの補助金が人道的プログラム、ポリオ撲滅活動、教育的プログラム、そのほかのプログラムに、直接、充てられました。

2010-11会計年度の寄付増進関連の支出は、1,750万ドルでした。これには、寄付を増やし、寄付者を認証するのにかかる人件費、サービス業務、通信費、出版物、広報、備品、コンピューター・サポート、法律顧問、認証品目などが含まれます。

2010-11会計年度の一般管理運営費は、570万ドルでした。これには、人件費、サービス業務、通信費、コンピューター・サポート、備品、法律顧問、監査手数料、さらに財団の資産を管理するために管理委員会に提供された業務の経費（事務的支援、会合費用、旅費）が含まれます。また一般管理運営費には、管理委員会の旅行関連経費（航空運賃、ホテルおよび食事）110万ドルも含まれます。これらの旅費は、ロータリー財団のプログラム推進、寄付およびロータリー財団の認識の増進、国際協議会、RI国際大会、管理委員会会合、およびロータリー研究会への出席に伴い生じたものです。

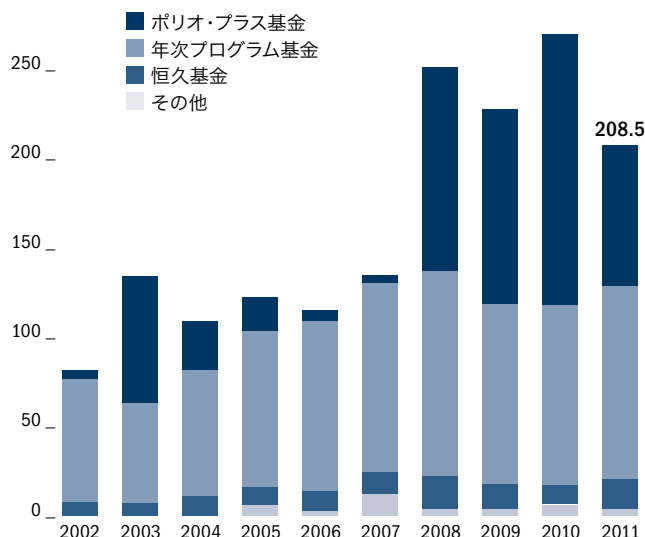
過去10年間、財団の支出総額の88パーセントはプログラム経費で、これは最低65パーセントという業界基準と比べて好ましいものとなっています。

財団の純資産

財団の純資産は、主に投資の実現益とロータリアンからの寄付の増加により、前年度に比べ1億3,750万ドルの増加となりました。

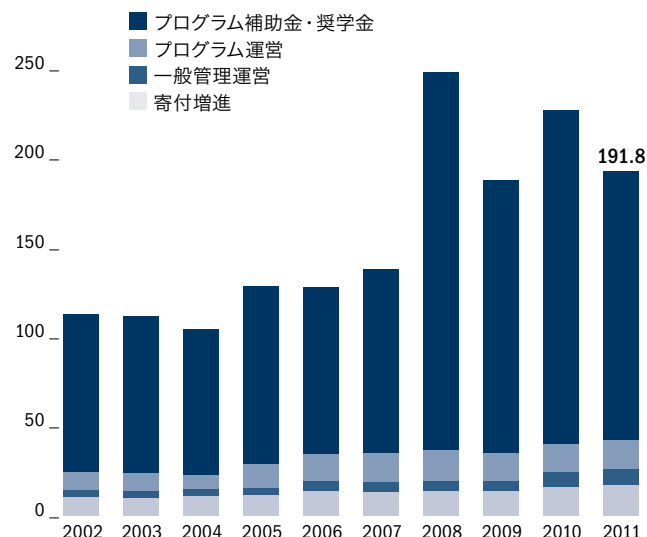
ロータリー財団への寄付

米ドル（100万単位）



プログラム補助金・奨学金、プログラム運営費および経費

米ドル（100万単位）



管理委員関連支出、および監査済み財務諸表を含む、ロータリー財団の2010-11年度財務情報の詳細は、www.rotary.org/financials (画面下の「日本語」をクリック) をご覧ください。

国際ロータリーのロータリー財団会計年度決算報告

米ドル (100万単位)

	2010-11	2009-10	2008-09	2007-08	2006-07
収入					
寄付¹					
年次プログラム基金	\$ 107.7	\$ 100.4	\$ 99.3	\$ 114.8	\$ 102.8
恒久基金	16.3	10.5	11.6	13.9	13.3
ポリオ・プラス基金	78.9	151.6	109.7	114.1	3.1
災害復興/冠名基金	4.1	2.4	1.1	0.5	0.3
使途推奨冠名基金	1.5	3.6	2.1	2.4	13.5
寄付合計	208.5	268.5	223.8	245.7	133.0
投資収益とその他の活動*					
年次プログラム基金	74.4	36.9	(106.2)	(30.4)	70.7
恒久基金	43.1	15.2	(59.3)	(18.5)	31.8
ポリオ・プラス基金	1.2	1.8	2.1	4.7	2.4
その他のプログラム	0.8	0.4	(0.5)	(0.1)	0.9
投資収益 (損失) 合計およびその他の活動	119.5	54.3	(163.9)	(44.3)	105.8
収益合計	\$ 328.0	\$ 322.8	\$ 59.9	\$ 201.4	\$ 238.8
プログラム補助金・奨学金、プログラム運営費および経費					
プログラム補助金・奨学金					
人道的補助金プログラム	\$ 40.5	\$ 44.2	\$ 38.2	\$ 56.7	\$ 44.8
教育的プログラム	16.6	23.5	22.0	23.4	23.3
ポリオ・プラス・プログラム	75.6	118.1	87.8	126.7	23.7
グローバル補助金	9.3				
新地区補助金	6.1				
その他のプログラム	2.1	1.2	1.0	1.2	8.4
プログラム補助金・奨学金合計	150.2	187.0	149.0	208.0	100.2
プログラム運営					
人道的補助金プログラム	6.9	7.5	9.4	10.2	9.6
教育的プログラム	5.2	5.9	6.6	7.1	6.7
ポリオ・プラス・プログラム	2.3	2.1	2.2	2.1	2.3
グローバル補助金	3.5				
新地区補助金	0.2				
その他のプログラム	0.3	2.4	0.4	0.1	
プログラム運営合計	18.4	17.9	18.6	19.5	18.6
プログラム補助金・奨学金および運営合計	168.6	204.9	167.6	227.5	118.8
運営費					
寄付増進	17.5	16.5	14.5	13.6	12.6
一般管理運営	5.7	5.2	5.7	6.3	6.3
運営費合計	23.2	21.7	20.2	19.9	18.9
プログラム補助金・奨学金、プログラム運営費および経費の合計	\$ 191.8	\$ 226.6	\$ 187.8	\$ 247.4	\$ 137.7
年金関係の調整額²	1.3	(0.6)	(1.9)	(0.3)	(0.5)
財団純資産の増加 (減少)	\$ 137.5	\$ 95.6	\$ (129.8)	\$ (46.3)	\$ 100.6

	2010-11	2009-10	2008-09	2007-08	2006-07
ロータリー財団の資産³					
現金、誓約、その他の資産	\$ 59.5	\$ 59.9	\$ 43.2	\$ 42.8	\$ 37.4
投資					
現金投資および短期投資	38.0	16.3	19.7	16.7	28.8
債権	285.4	268.6	226.3	234.2	150.0
株式	271.5	283.2	261.2	383.6	468.1
国際分散投資	15.8				
代替的投資	153.5	78.9	81.0	124.2	93.0
金利分離同意	28.8	24.4	22.8	27.3	27.2
投資合計	793.0	671.4	611.0	786.0	767.1
資産合計	\$ 852.5	\$ 731.3	\$ 654.2	\$ 828.8	\$ 804.5

ロータリー財団の負債および純資産

負債					
未払いのプログラム補助金	\$ 37.3	\$ 51.5	\$ 72.5	\$ 115.7	\$ 45.8
未払勘定と見越し経費	20.2	22.3	19.8	21.4	20.7
負債合計	57.5	73.8	92.3	137.1	66.5
純資産⁴					
年次プログラム基金	397.9	329.1	310.1	434.3	475.3
ポリオ・プラス基金	140.5	130.0	77.4	42.7	37.3
恒久基金	241.5	187.2	168.0	207.9	219.6
災害復興/冠名基金	6.1	2.1	0.3	0.7	0.3
使途推奨冠名基金	9.0	9.1	6.1	6.1	5.5
純資産合計	795.0	657.5	561.9	691.7	738.0
負債および純資産合計	\$ 852.5	\$ 731.3	\$ 654.2	\$ 828.8	\$ 804.5

通過寄付

マッチング・グラント	\$ 11.2	\$ 16.1	\$ 15.1	\$ 18.5	\$ 14.5
グローバル補助金	1.9				
ポリオ・プラス・パートナー				4.4	1.6
その他	0.2	0.5	0.5	0.7	0.2
通過寄付合計	\$ 13.3	\$ 16.6	\$ 15.6	\$ 23.6	\$ 16.3

- 1 通過寄付は含まれていません。これらの資金は、寄付者認証のために財団に一時留まり通過しますが、米国の会計基準に従い、寄付として財務報告書に記載されることはありません。
- 2 米国会計基準では、退職年金資産の公正価額が退職年金の累積給付義務と異なる場合には、年金関連の調整を行うよう義務づけています。国際ロータリーは、米国の財務会計基準第715号に従い、財団の給与経費に比例した配分を行っています。
- 3 2010-11年度の情報表示形式プレゼンテーションに一致させるため、前年度の支出項目が再分類された部分があります。
- 4 純資産とは、組織の合計資産と負債の差額です。

* 2012年1月に年次報告に修正が加えられ、2011会計年度の恒久基金の投資収益が780万ドル上方修正、年次プログラム基金の投資収益が780万ドル下方修正となりました。

国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高潔性を推進し、
事業と専門職および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて
世界理解、親善、平和を推進することです。

国際ロータリーのロータリー財団の使命は、
ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、
世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリーが提唱したハイチでの医療事業で、井戸に向
かう子どもたちの後を歩くニューポート・ロータリー・ク
ラブ(米国)のピーター・イングルマンさん。

2010-11年度会員統計

1,223,413 **ロータリアン**

34,301 **ロータリー・クラブ**

530 **ロータリー地区**

8,703 **ローターアクト・クラブ**

13,556 **インターアクト・クラブ**

7,142 **ロータリー地域社会共同隊**

グレートブリテン
およびアイルランド **5%**

オーストラリア・
ニュージーランド・
太平洋諸島 **3%**

アジア

28%

ヨーロッパ・
アフリカ・
中東 **25%**

米国・カナダ・
カリブ海諸島 **31%**

中南米 **8%**

地域別
ロータリアンの
割合

統計はすべて、2011年6月30日現在のものです。

国際ロータリー 2010-11年度理事会

会長

レイ・クリンギンスミス (米国)

会長エレクト

カルヤン・パネルジー (インド)

副会長

トーマス M. ソーフィンソン (米国)

財務長

K.R. ラビンドラン (スリランカ)

RI理事

ノエル A. バジヤット (米国)

ジョン T. ブラウト (米国)

エリオ・チェリーニ (イタリア)

ケネス W. グラボー (米国)

フレデリック W. ハーン・ジュニア (米国)

アントニオ・アラジェ (ブラジル)

スチュアート B. ヒール (ニュージーランド)

近藤雅臣 (日本)

黒田正宏 (日本)

李 奎恒 (韓国)

デビッド C.J. リディアット (英国)

バリー・マシソン (ノルウェー)

サミュエル F. オオリ (ウガンダ)

エックハルト・パンデル (ドイツ)

ジョン・スマージ (米国)

事務総長

エドウィン H. フタ (布田) (米国)

2010-11年度

ロータリー財団管理委員会

管理委員長

カール・ヴァルヘルム・ステンハマー (スウェーデン)

管理委員長エレクト

ウィリアム B. ボイド (ニュージーランド)

副管理委員長

ジョン F. ジャーム (米国)

管理委員

裴 渡 (ドウ・バエ) (韓国)

スティーブン R. ブラウン (米国)

リン A. ハモンド (米国)

李東建 (韓国)

アショク M. マハジャン (インド)

アン L. マッシュズ (米国)

デビッド D. モーガン (ウェールズ)

サミュエル A. オクズェト (ガーナ)

小沢一彦 (日本)

ルイ・ピコーニ (米国)

ホセ・アントニオ・サラザール・クルス (コロンビア)

ウィルフリッド J. ウィルキンソン (カナダ)

事務総長

エドウィン H. フタ (布田) (米国)



表紙

ハイチ大地震のための災害復興基金に世界中のロータリアンが多額の支援を寄せました。そのうち、200万米ドル以上が、ハイチの家族にきれいな水やその他の必需品を提供するために生かされました。

ロータリー・フォトライブラリ

特記がない限り、写真はモニカ・ロジンスカ・リー（6、7、15ページ左上、および26ページ）およびアリス・ヘンソン（その他）の撮影によるものであり、著作権はすべて国際ロータリーが所有します。©2011 by Rotary International



ROTARY INTERNATIONAL®
THE ROTARY FOUNDATION

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org